

# 全日本空手道連盟 中長期普及マーケティング戦略 (2021年—2024年)



西村 幸  
— 選手 —  
WKFチャンピオン

城菜 沙  
— 選手 —  
WKFチャンピオン

高友 幸  
— 選手 —  
WKFチャンピオン

清水 希音  
— 選手 —  
WKFチャンピオン

片賀 龍太郎  
— 選手 —  
WKFチャンピオン

KARATE RAIZIN JAPAN



# はじめに

今、人間関係の希薄化による相互扶助の欠如や高齢化社会における健康長寿力の維持や向上が喫緊の課題となっている。

こうした社会において、空手は”生涯武道スポーツ”として世代を超えて人と人を繋ぎ、日本が直面している課題の解決に資することが期待されている。

しかし、空手を含むスポーツ界は新型コロナウイルスの蔓延により未曾有の苦況に立たされている。

大会中止・教室閉鎖により事業収入が得られず、中央競技団体を支えてきたスポーツ振興くじ助成などの助成金も不透明である。

人々になくてはならない存在である空手を永続的に維持するためには、自立自走できる体制と収益力の向上が求められている。




# 目次

1. 全空連が目指すこと
2. 現状分析
3. 重点事業 1 (アプリの導入)
4. 重点事業 2 (YouTubeの強化)



# 1. 全空連が目指すこと

# 全日本空手道連盟の社会的役割（ミッション）



空手道が生涯武道スポーツとして、  
人と人との結びつきを強め、  
また人々の健康増進と維持に寄与することにより、  
日本社会の活性化に貢献する。

# 全日本空手道連盟が2024年になりたい姿（ビジョン）

「武道」の伝統と「スポーツ」の魅力を融合し、  
「武道スポーツ」を日本社会に欠かせない存在として浸透させる。

## 全空連が提供する価値

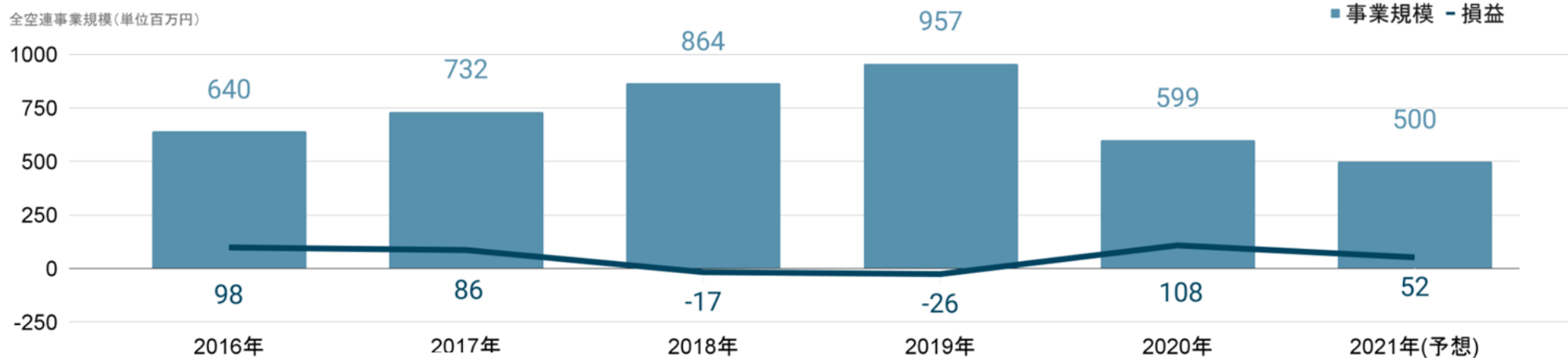
武道：伝統、礼節、人格形成  
スポーツ：健康、感動、フェアプレイ

## 2. 現状分析



# 2016年-2021年の活動の振り返り

全空連事業規模(単位百万円)



「五輪正式種目に初採用」

～初めてスポンサーが付き  
収入増加に繋がる～

「オリンピック対策本部  
の発足」

～新部署として国際関連、  
広報、国際大会運営を担う～

「国際大会誘致」

～競技イメージの一新  
と大会放映～

「DX化の開始」

～会員登録システム  
をオンライン化、連  
盟YouTube Channel  
を開設～

「スポーツ庁xビズリーチ  
プロジェクトへ参画」

～広報戦略のプロ人材を副  
業・兼業で3名採用～

「自由視点映像カメラ  
の採用」

～教材強化、競技力向上、  
コンテンツ強化へ  
繋げる予定～





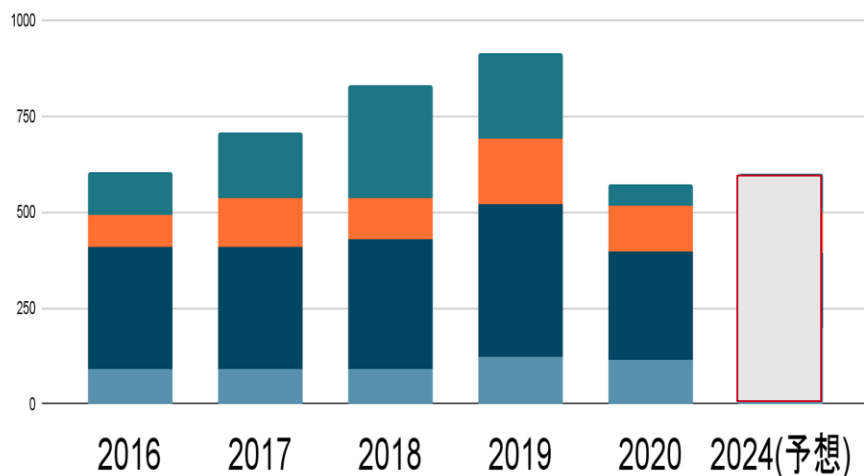
# 財務分析

## 概要

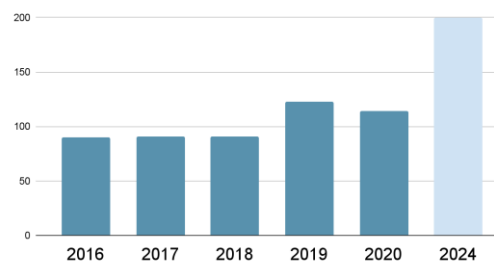
- ①2019年まで順調に延びてきた事業収入が、2020年は全ての費目において減少した。
- ②2024年に向けて助成金の大幅減少分を会費や協賛金収入で補う必要がある。

事業収益

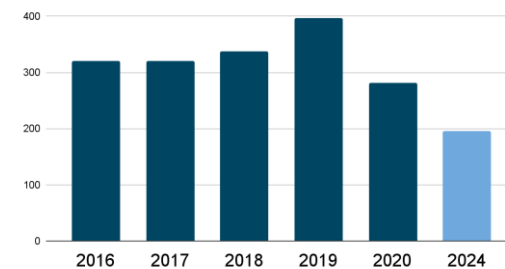
■ 受取補助金等 ■ 受取協賛金 ■ 事業収益 ■ 受取会費



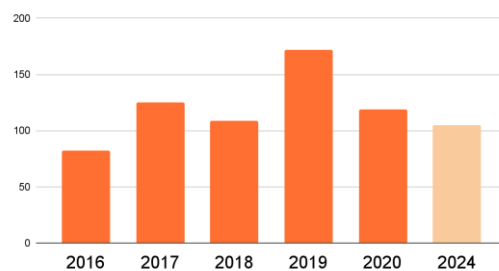
受取会費



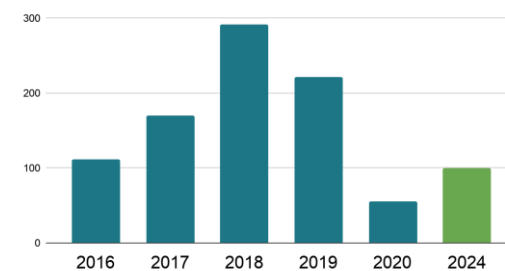
事業収益



受取協賛金



受取補助金等



# 環境分析（SWOT）

## 機会（Opportunities）

- 東京オリンピックの追加種目
- スポーツへの資金提供の機運の高まり
- 健康寿命への関心の高まり
- 武道ツーリズム研究会の発足
- 競技人口が世界で1.2億人（国際空手連盟公表）
- 訪日外国人に武道、特に空手の関心が高い
- 空手道は日本の伝統として海外でも広く認知
- 空手道は人間形成に貢献するとして国内で広く認知
- 中学校保健体育の学習指導要領に空手道が明記

## 脅威（Threats）

- 2024オリンピック競技種目からの落選
- 東京オリンピック後の空手への関心低下
- スポーツくじ助成の不確実性
- 三密を回避する生活様式の変化
- 中学校保健体育での空手の指導者不足
- 伝統空手と他の空手が混在した誤った理解が普及
- 他武道に比べ伝統空手のルールの理解が困難

## 強み（Strengths）

- 空手道の団体の中で会員数が最大（8.2万人）
- 日本全国3,600の道場と連携
- 空手道の団体で唯一のJSPPO・JOC加盟団体
- IOC公認国際競技団体の世界空手連盟に所属
- 世界大会でナショナルチームのメダル獲得数世界一

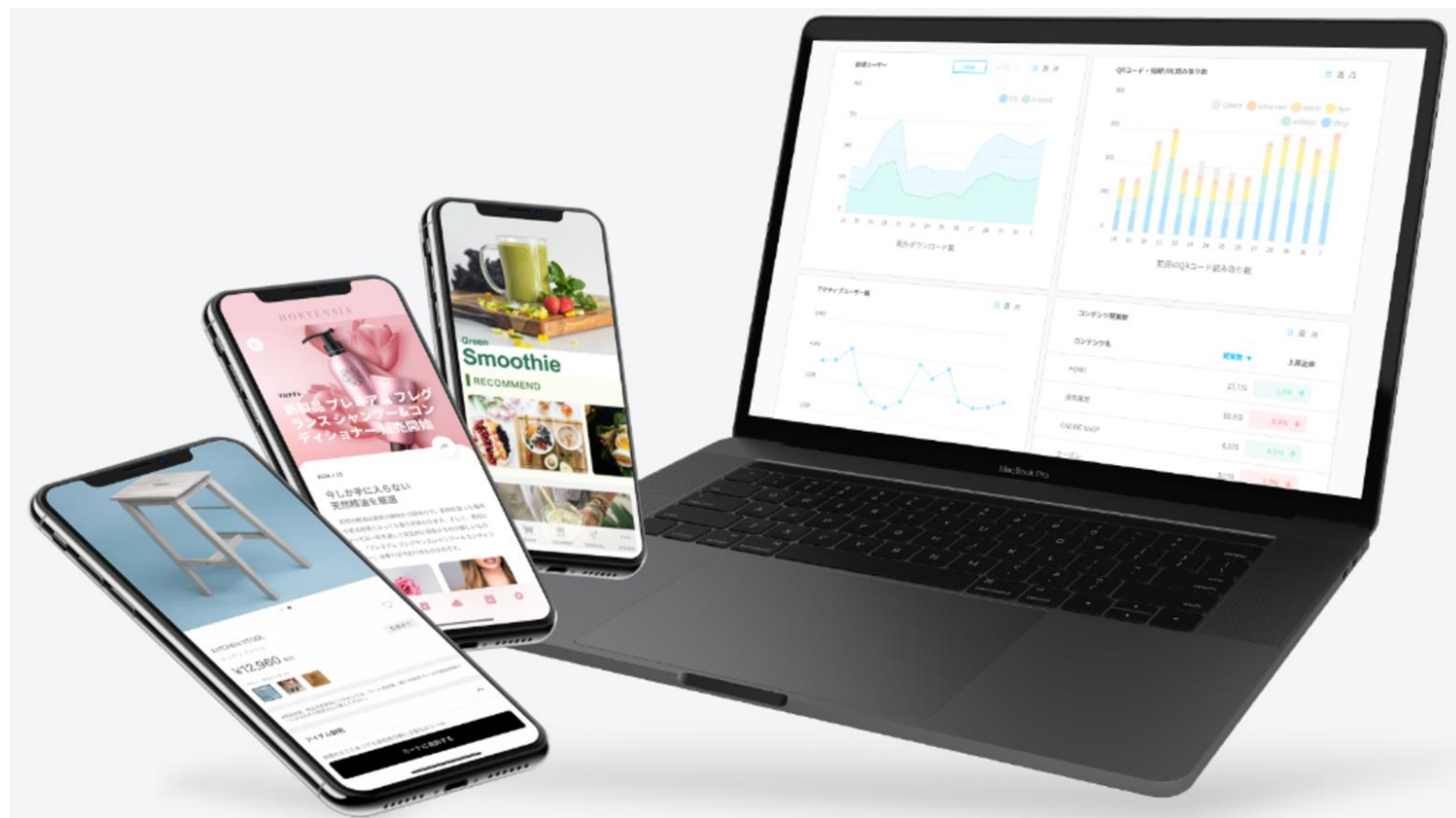
## 弱み（Weaknesses）

- 助成金に頼った経営
- スポンサー営業における代理店依存
- 広報やプロモーションの担当者が不在
- 経営管理や新規事業企画の経験者不足
- 会員未登録者が多数存在（約5万人）
- 会員の詳細データ（段位ごとの年齢、職業など）欠損
- 低い社会人会員比率（約3割）
- 脆弱な道場主との関係性
- 大会運営や会員管理者の多くはITが不得意
- 運営する大会観覧者の多くが空手を「する人」のみ

## 戦略

会員数（する人）と視聴者数（みる人）を増やすことで外部環境に左右されにくい財政基盤を確保する。その後スポンサー（ささえる人）など外部からの収益拡大を目指す。

### 3. 重点事業1 (アプリを製作します)

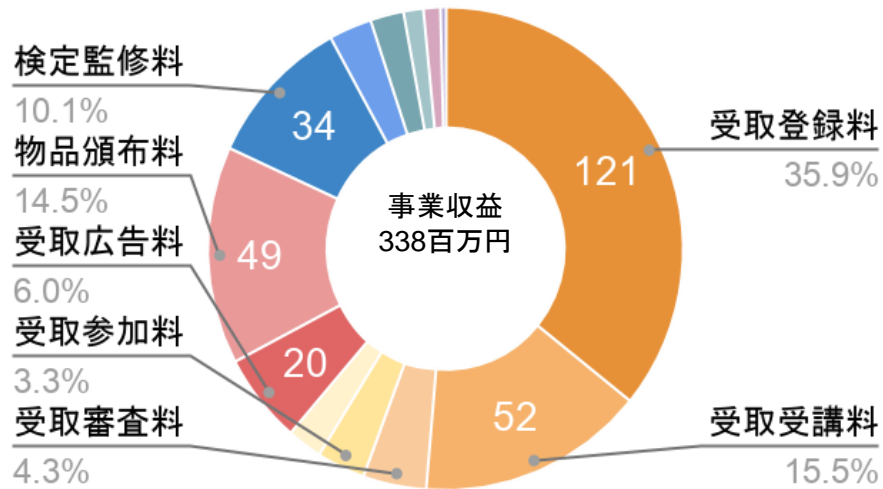




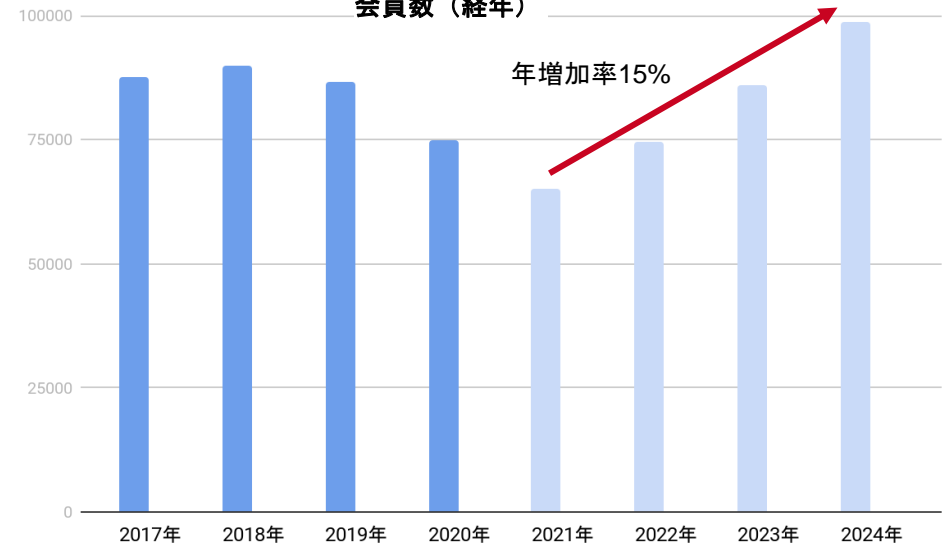
## 事業 1-1. アプリ導入の目的

<b>現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 会員からの収益が事業収益の3/4（約2.5億円）を占める。</li> <li>② 会員数は減少傾向にある。</li> </ul>
<b>課題と施策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中学進学時、急激な会員離脱が起きる。また、大学卒業時の離脱率も大きい。</li> <li>② 施策として、若年層対策としてアプリを開発し会員との接点を増やす。</li> </ul>
<b>目標</b>	2022年から会員数を毎年10%増加し、2024年にコロナ前の水準まで会員数を戻す。

事業収益（2019年）



会員数（経年）



# 事業 1-2. これまでの会員施策

## 概要

- ①紙面で行ってきた会員登録手続きをウェブで行えるように2018年に同システムを導入した。
- ②次なる施策として、会員管理システムと連携したアプリを導入する。

## 会員管理システム

The screenshot shows the '会員管理システム' (Membership Management System) interface. It features a green header with the JKF logo and navigation links like 'ようこそ 岡崎記 様' and 'HELP LOGOUT'. Below the header, there are search filters for '会員登録メニュー' and '会員情報検索条件設定'. The main content area is divided into sections for '段位・級位' (Rank/Grade) and '審判' (Referee). The '段位・級位' section includes fields for rank, special rank, certificate number, and application date. The '審判' section includes fields for referee type, rank, and application date. At the bottom, there are buttons for '検索' (Search), 'CSV出力' (CSV Export), 'クリア' (Clear), '一時保存確認' (Check Temporary Save), '一時保存破棄' (Delete Temporary Save), and '戻る' (Back).

## 公式ウェブサイト

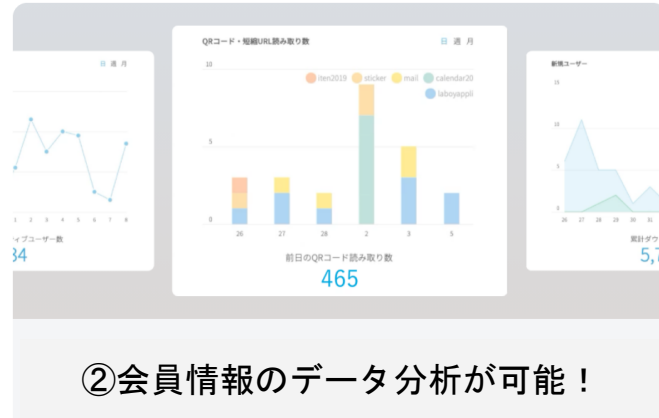


## トピックス

The screenshot shows the 'トピックス' (Topics) section of the JKF website, featuring four news items:

- お知らせ** (Notice): 5月に行われる6・7・8段位審査会、全国形審判員講習会、全国形審判養成講習会につきまして (Regarding the 6th, 7th, and 8th Dan Examinations, National Form Referee Training, and National Form Referee Training held in May).
- お知らせ** (Notice): 令和3年度公認全国形審判員講習・審査会開催のご案内 (Notice regarding the 2021 National Form Referee Training and Examination held in FY2021).
- KARATE1プレミアリーグ・リスボン 日本は4個のメダル獲得** (KARATE1 Premier League - Lisbon, Japan wins 4 medals).
- 【Hulu 見逃し配信 中】「プレミアリーグ リスボン大会」メダルマッチを配信** (【Hulu Catch-up Broadcast In Progress】'Premier League Lisbon Tournament' Medal Match Broadcast).

# 事業1-3. アプリ導入による効果

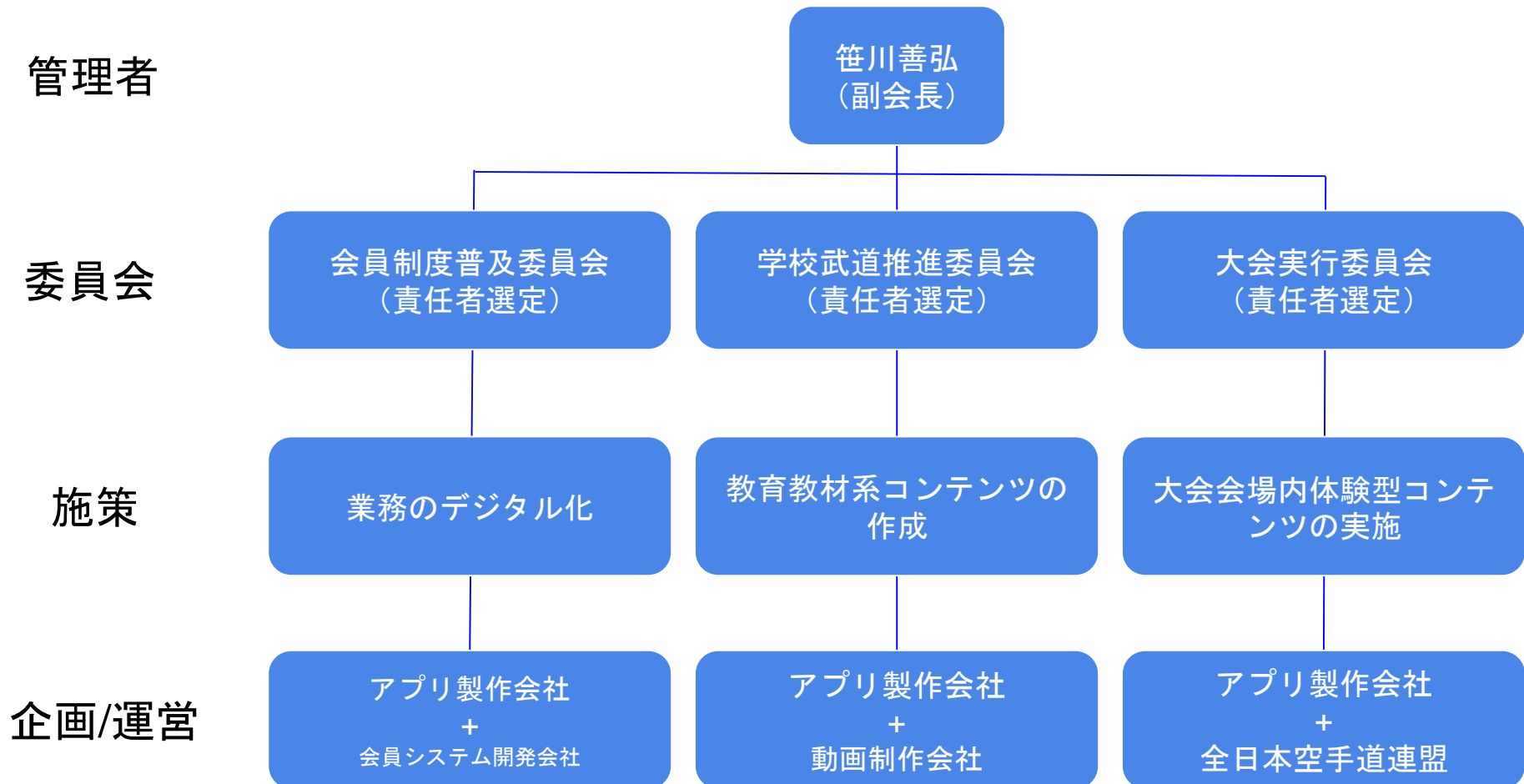




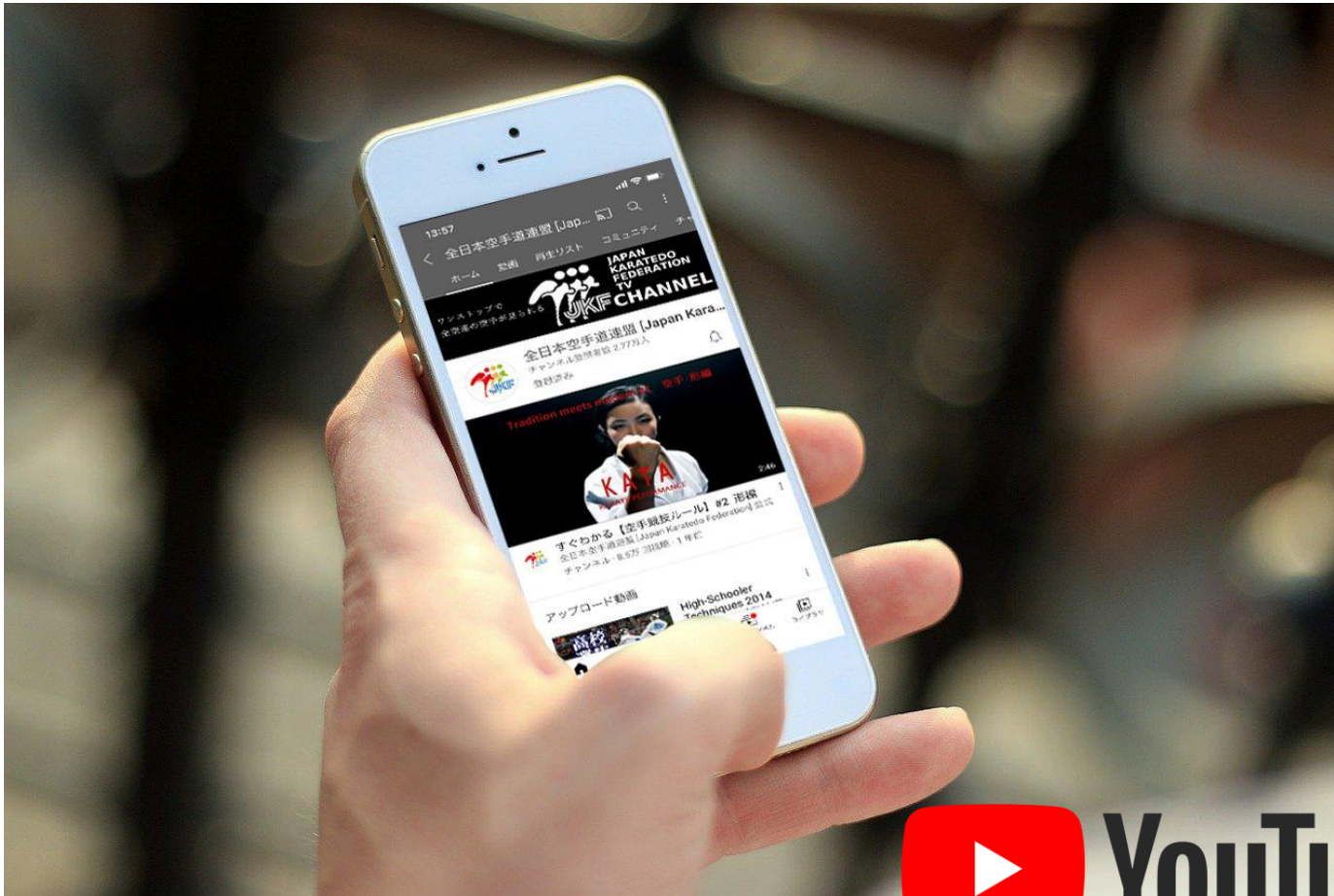
## 事業 1-4. アプリ事業推進体制

### 概要

①笹川善弘をプロジェクトマネージャーとし、全空連内の各委員会と連携した形でアプリ事業を行う。各委員会の責務として企画の実施可否の決定と実施前の内容確認を行う。



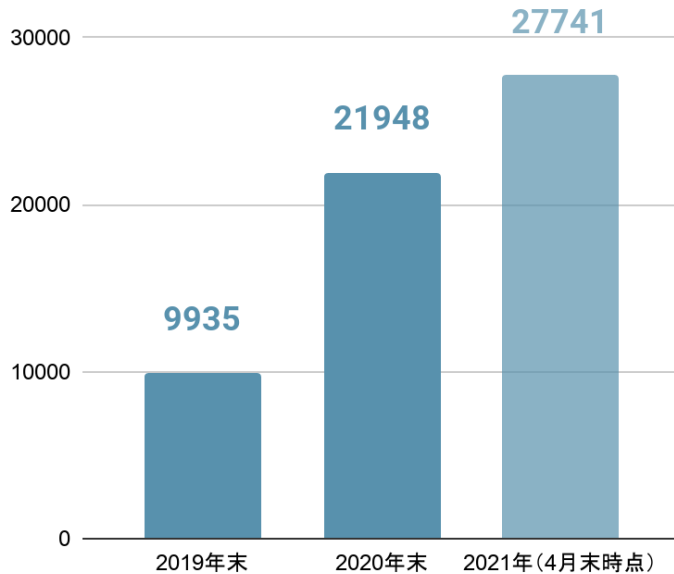
## 4. 重点事業 2 (YouTubeを強化します)



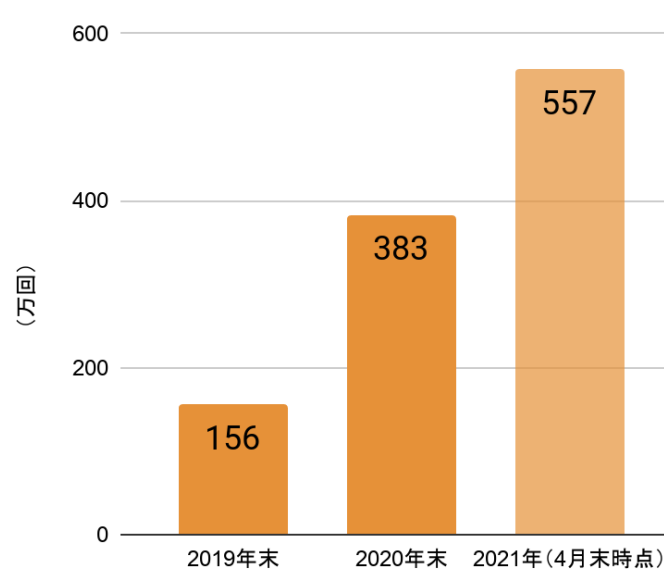
## 事業2-1. YouTube強化の目的

<b>現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①チャンネル登録者数2.7万人</li> <li>②YouTube収入も初年度と比較し290%増加</li> <li>③YouTubeから発生する再生収入はナショナルチーム後援会の基金に全額寄付</li> </ul>
<b>課題と施策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「教材」コンテンツが不足している。大会の生配信が不足している。</li> <li>②施策として、「360度カメラを活用した現状の教材強化」と「より魅力ある大会配信」を行っていく</li> </ul>
<b>目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①チャンネル登録者5万人</li> <li>②年間6大会の配信</li> <li>③360度カメラによる「基本形」+「審判講習会」の撮影と配信</li> </ul>

登録者数(累計)



再生回数(累計 単位:万回)

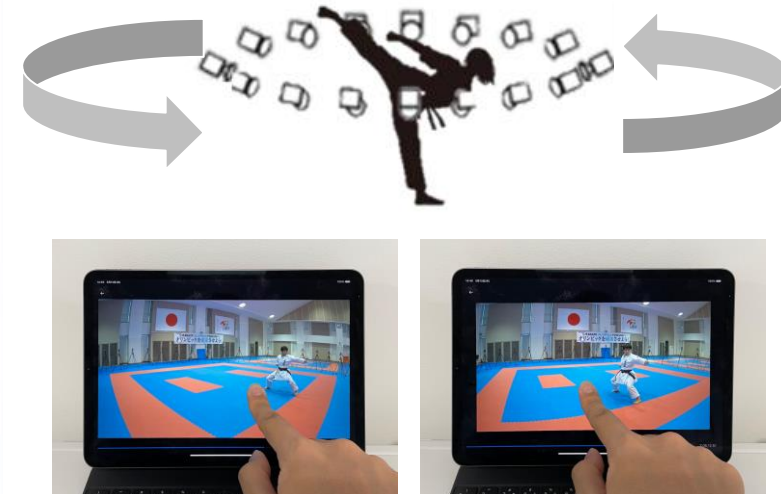
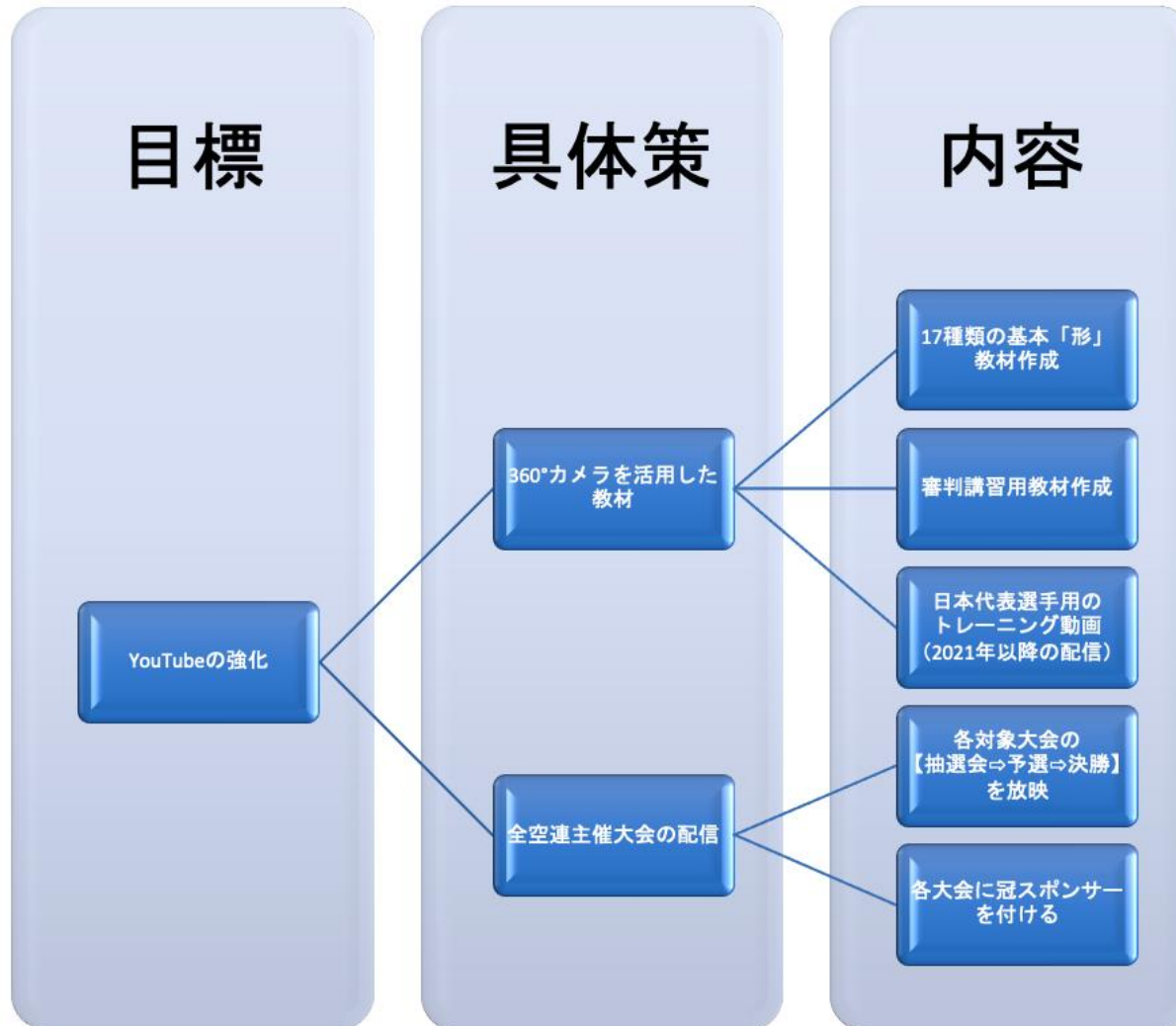




## 事業 2-2. YouTube強化の具体策

### 概要

- ①【360°カメラを活用した教材の作成】全空連会館に常設し撮影環境の整備から始め、7月ごろから撮影を行う。
- ②【全空連主催大会の配信】対象大会を精査し、機材購入後、撮影を行う。



## 事業2-3. YouTube事業推進体制

### 概要

①笹川善弘をプロジェクトマネージャーとし、全空連内の各委員会と連携した形でYouTube事業を行う。各委員会の責務として企画の実施可否の決定と実施前の内容確認を行う。

